

(3)豊かな地域資源の活用促進

プロジェクト 食の力を生かした健康的な暮らしの実現

目標

- ・平均寿命の延伸 (現状) R2: 男性79.27才、女性86.33才
- ・健康寿命の延伸 (現状) R1: 男性71.73才、女性76.05才

挑戦する内容

- ・あらゆる世代に対応した食育活動の実践
- ・食育活動を担う指導者の育成と資質向上
- ・野菜と果物の摂取啓発
- ・Web活用による食生活改善や野菜・果物の持つ機能性等の情報拡散
- ・共食の場と未利用農産物の提供促進
- ・学校給食を通じた県産食材PR・啓発

関係者の声
=対話

- ・世代に対応した食育に継続的に取り組んでいく必要がある(教育、医療関係者)
- ・郷土料理の伝承機会を増やしたい(学識、消費、医療関係者)
- ・野菜、果物の摂取量や肥満の割合など改善すべき点が多い(教育、医療関係者)
- ・小中学校で食育や農業に関する授業を取り入れてほしい(#あおばな、生産者)
- ・学校給食で県内各地の特産品を交換し提供してはどうか(#あおばな、地域づくり団体)

役割分担

- ・県食育推進会議 : 県計画の進捗状況評価や施策への提言
- ・教育・食育関係者等 : 食育指導体制整備、学校給食の地元食材利用拡大等
- ・医療、保健、栄養・福祉関係者 : 食に関する指導、保健指導等
- ・農林漁業者 : 安全・安心な農林水産物の生産、農林漁業体験機会の提供、地産地消推進等
- ・県民 : 健全な食生活実現への努力、地産地消推進による農林水産業振興への協力
- ・行政(県、市町村) : 関係機関等と連携した気運醸成、地域の実情に応じた食育推進

変革後の姿

- ・健康的な食生活を実践しようとする県民が増え、平均寿命、健康寿命が延伸
- ・野菜・果物の機能性を理解し、積極的に食生活に取り入れる県民が増え、消費量がアップ
- ・次代を担う小中学生の「食」への意識向上と地域への愛着心の向上

令和7年度計画

挑戦する内容

- あらゆる世代に対応した食育活動の実践
 - ・園児から高校生までもを対象とした農作業体験を取り入れた食育講座
 - ・子育て世代から高齢者までの大人向けの農作業体験を取り入れた食育講座
 - ・共食の場における食育講座
- 食育活動を担う指導者の育成と資質向上
 - ・食育サポータースキルアップ講座
 - ・食育指導者向け「野菜+果物」研修会
- 野菜と果物の摂取啓発
 - ・量販店等PR資材、SNS広告、HPでの情報提供等
- Web活用による食生活改善や野菜・果物の持つ機能性等の情報拡散
 - ・YouTube等活用による情報拡散
- 共食の場と未利用農産物の提供促進
 - ・農林漁業者等が集まる場を活用した情報提供等
- 学校給食を通じた県産食材PR・啓発
 - ・県産食材に関わる本県農林水産業や食文化のPR



あおもり食命人による食育活動



野菜摂取啓発ポスター



県産食材紹介動画

対話

- ・部会、青森県食育推進会議を開催し、青森県食育推進計画の進捗状況や施策に対する評価・提言を取組に反映(7月、1月)
- ・事務所単位で地域食育ネットワーク協議会を開催し、関係者からの意見を取組内容に反映(各地域1回)